

【報告】THEシガパークビジョンの検討について

1 趣旨

・THEシガパークビジョン(以下、ビジョンという。)の策定に向けて、公園に関わる様々な分野の専門家や関係者等の幅広い意見を反映するため、THEシガパークビジョン検討委員会(以下、検討委員会という。)を設置し、11月5日に第1回検討委員会を開催しましたので報告します。

2 THEシガパークビジョンについて

- ・過年度まで府内で進めてきた取組をベースとして、本委員会をはじめ、県民、利用者、関係者等から意見を聴きながらビジョンを策定し、県民等と一緒に目指す方向を定めることで、THEシガパークを県民等との共創による取組(みんなでつくるTHEシガパーク)に深化していきたい。
- ・令和7年度末にビジョン骨子を作成し、令和8年度中にビジョンを策定する予定。
- ・THEシガパークビジョンは、長期的視点のビジョンと、行動計画(第1期は2030年まで)の2部構成とし、行動計画は5年ごとに見直しを図っていく。

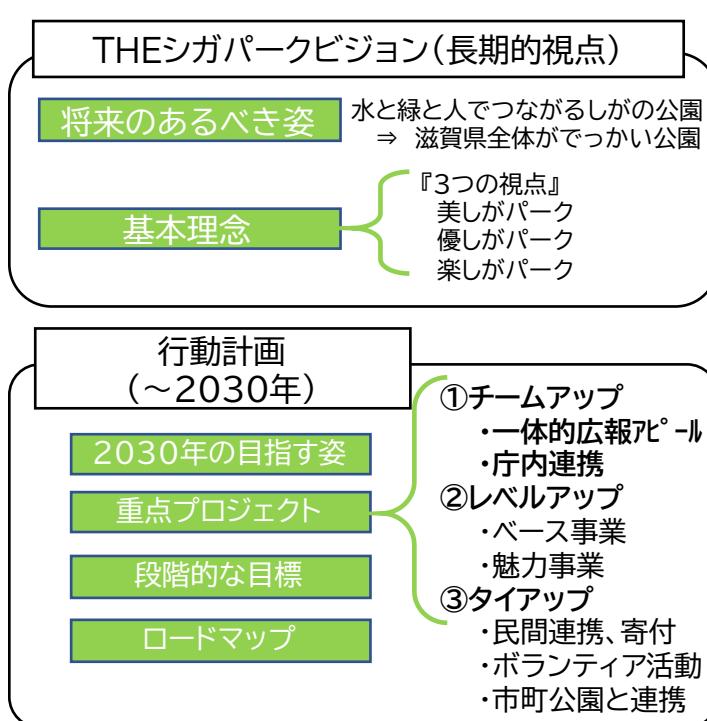


図-1 THEシガパークビジョンの構成(2部構成)

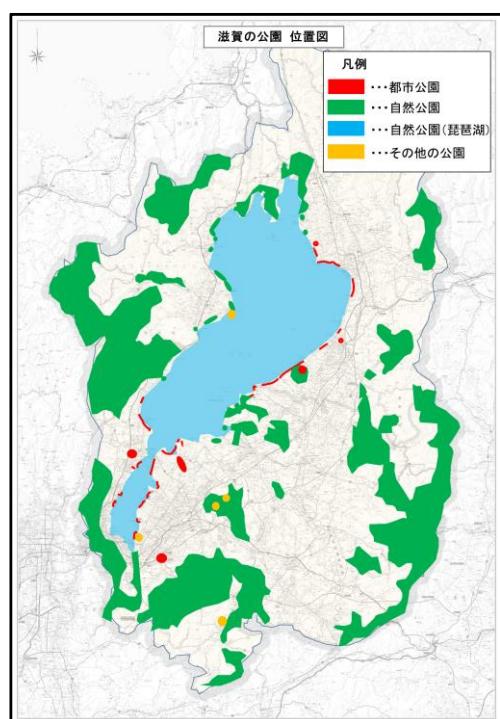


図-2 位置図

- ・THE シガパークの取組は、県の管理する公園でスタートしているが、将来のあるべき姿としては、市町等の管理する公園や民間のオープンスペース等も仲間になって、連携して取り組んでいきたいと考えている。

- ・また、THE シガパークビジョンを実現するための重点的な取組として、湖岸公園全体計画をビジョンと並行して別途検討します。

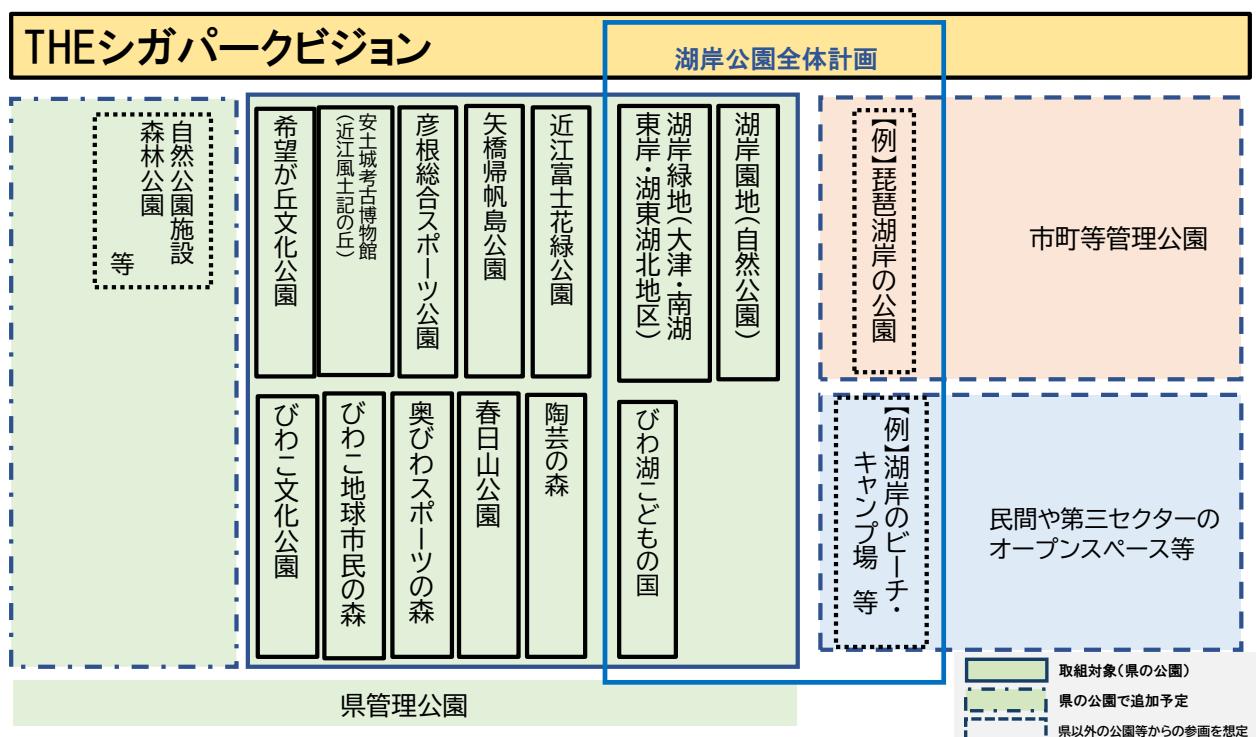


図-3 THE シガパークの対象範囲のイメージ



図-4 THE シガパークのイメージイラスト

※イメージイラストはビジョン検討の中で更新する予定。

3 第1回検討委員会における主な意見

THE シガパークおよびこれまでの取組について

- ・長期的視点で理想を検討することも必要。
- ・横連携が取りにくい行政組織の中で、部局をまたぐプロジェクトであることが最大の特徴であり、独自性があり、重要なことである。
- ・一つの公園で多層的なプログラムが垂直的に立ち上がること、それらが県内で点から線、面へと水平的につながっていくことがポイント。
- ・目に見えにくいが景観や生態系、文化を守る公共資産としての価値を重視すべき。
- ・予算がないと進まないため短期的には財源確保が必要。

THE シガパークビジョンについて

- ・長期的なビジョンは、どの程度の期間で検討するのかが大切であり、10 年単位では收まらず一世代で完結できるものではなく、次の世代に継承する前提での作成が必要。
- ・次の世代に継承するにしても、将来のことをどこまで決めていけばいいのか。また、人口減少のデータなども踏まえて検討していくのか。
- ・理想として検討するのは 100 年先でもいいが、私達が責任持っている範囲としては 25 年～50 年くらいのスパンが普通と考える。
- ・水と緑と人と繋がるっていうワードは素敵であるが、そもそも誰のために THE シガパークビジョンをつくるのか、自分事として公園を捉えてもらうための工夫が必要。
- ・市町、民間施設を含めるのは良いことなので、各実態の把握や調整の場の設定、情報共有が必要。

意見聴取方法について

- ・アンケートは、できるだけ広く集められるように、できるだけ回答しやすい内容や見やすいデザインの工夫が必要。
- ・今回は、骨子作成前の意見聴取であるが、ビジョン骨子作成後の意見聴取も必要。
- ・公園は、いろいろな人のエピソードや体験にあふれた記憶が積み重なった場所でもあるため、自身の体験に関する設問があると良い。

4 県民・各分野の関係団体等からの意見聴取について

- ・ビジョン骨子検討の初期段階で、県民のみなさまや民間を含めた関係機関・団体様からの公園に対する意見をお聴きするため、アンケート等を実施し、骨子(案)に反映する。
- ・意見聴取の対象は、県民、県内外の公園利用者や普段公園を利用しない者への一般アンケートおよび公園で活動する利活用団体等や公園に関わる関係機関等へ調査を行った。

対象	方法	期間
【小学生～高校生】	県内 子ども若者部子ども若者政策・私学振興課が実施した「滋賀の子どもの声調査」	R7年7月実施
【一般募集】	県内 WEBアンケート シガパークインスタフォロワー等 プロモーション事業と連携	
【マーケティングリサーチ】	県内外 滋賀県・大阪府・京都府・福井県 岐阜県・三重県・愛知県 2,000サンプル程度をサンプリング	11月中に実施予定
【利活用団体等】	県内 子ども、自然観察、自然教育、 アウトドア、スポーツ、健康、 学術・文化・芸術 など	調査票をメールで配布
【関係機関等】	県内 メディア、インフルエンサー、 まちづくり、金融 など	調査票をメールで配布 必要に応じてヒアリング

図-5 意見聴取の対象

5 THE シガパークビジョン策定のスケジュール

- ・令和7年2月議会に、ビジョン骨子(案)を報告し、令和8年度中にビジョン(案)を議会に報告する予定。

2025（令和7）年度 THEシガパークビジョン骨子(案)の作成

第1回検討委員会：令和7年11月5日 【議題】概要説明・意見聴取方法について

▷県民・各分野の関係団体等から意見聴取

第2回検討委員会：令和7年12月24日 【議題】骨子(素案)について

▷市町等と意見交換

第3回検討委員会：令和8年 2月10日 【議題】骨子(案)について

▷骨子(案)を2026年2月議会に報告予定

常任委員会

12月（今回）

3月

適宜、常任委員会
報告予定

2026（令和8）年度 THEシガパークビジョンの策定

第4回検討委員会：令和8年●月（予定） 【議題】骨子を踏まえたビジョンの素案について

▷市町等と意見交換や各分野の関係団体等から意見聴取

第5回検討委員会：令和8年●月（予定） 【議題】THEシガパークビジョン(素案)について

▷パブリックコメントの実施

第6回検討委員会：令和9年●月（予定） 【議題】THEシガパークビジョン(案)について

▷THEシガパークビジョン(案)を議会に報告予定

図-6 ビジョン策定のスケジュール

参考資料

【参考1】THE シガパークについて

- ・県の公園を所管する各部局が、法や枠組みに関わらず、連携して公園の価値と魅力を相乗的に向上させるため、令和 5 年 5 月に、公園魅力向上推進室が事務局となって「“しがの公園”魅力向上推進会議」を設置した(令和 5 年 8 月に「THE シガパーク推進会議」に改称)。※現在、5 部 9 課で構成
- ・「THE シガパーク」:琵琶湖を中心とした滋賀県全体が水と緑と人でつながる一つの大きな公園となった姿。
- ・「シガパーク」:「THE シガパーク」を構成し、公園の魅力向上の取組の対象となる個別の公園。※県の管理する公園でスタートしている。
- ・THE シガパークでは、すべての人の憩い・交流・体験の場となり、子どもたちが美しい自然の中で遊び、学ぶことができる場であり、人間を含むすべての生き物の暮らしと心を豊かにする場を目指している。
- ・THE シガパークの実現に向けて、さまざまな魅力を持った公園が、連携して一体的に、公園の「美しさ」、「優しさ」、「楽しさ」という3つの視点での魅力向上のため、「チームアップ」、「レベルアップ」、「タイアップ」という3つのアップを合言葉に、公園の魅力向上の取組を進めている。



図-7 THE シガパークの3つの視点と3つの取組

【参考2】THE シガパークビジョン検討委員会の設置

- ・ビジョンの策定に向けて、公園に関わる様々な分野の専門家や関係者等の幅広い意見を反映するため、検討委員会を設置

分野	所属・氏名等
地域・まちづくり	滋賀県立大学 地域共生センター 上田 洋平 特任講師
造園	京都府立大学 生命環境科学研究科 福井 亘 教授
自然	公益財団法人 淡海環境保全財団 高木 浩文 理事長
野外活動	滋賀県シェアリングネイチャー協会 辻 祥子 氏
子ども	合同会社LOCO 宮本 麻里 代表
健康 (ウェルビーイング)	武蔵野美術大学 造形構想学部 岩崎 博論 教授
メディア	一般社団法人ママパサポートコミュニティ 廣瀬 香織 代表理事

図-8 検討委員会の委員名簿